|  |
| --- |
| 第８章　大阪の国際化 |
| 近畿圏の貿易は、地域別では輸出入ともにアジアの割合が高く、北米の割合が低いこと、品目別では、輸出は輸送用機器の割合が低く、電気機器の割合が高いことが特徴です。  第８章では、大阪の国際化の現状を把握するために、貿易や外国企業数、国際会議の開催件数等について取り上げます。 |

教えて！Q＆A

大阪税関「貿易統計」

大阪税関「貿易統計」

|  |
| --- |
| 近畿圏の輸出入は、増えているの？減っているの？  増減しているのは、何が原因なの？ |

 2021年の近畿圏の輸出額は18兆6,002億円、輸入額は15兆4,888億円で、それぞれ全国の22.4％、18.3％を占めています（8－1参照）。主な輸出品としては、半導体等電子部品や電気回路等の機器などの電気機器が挙げられます。

輸出額の推移をみると、中国への輸出増加などにより1990年代後半から増加が顕著になりました。リーマンショックが発生した2008年、翌2009年と減少に転じました。2010年以降は回復傾向にあり、米中貿易摩擦や新型コロナによって一時的に減少したものの、2021年は再び増加しました。ただ、全国よりも増加率が小さく、輸出額の全国シェアはわずかに低下しました（8－1参照）。

近畿圏の輸出額は概ね輸入額を上回っており、貿易収支は黒字基調です。

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ８－１  特徴 | 全国・近畿圏の輸出入の通関額の推移 |

・ 近畿圏の輸出額は2021年に18兆6,002億円で３年ぶりの増加でした。

* 近畿の輸出額の全国シェアは2021年に22.4％で、0.1ポイント低下しました。

大阪の国際化



|  |  |
| --- | --- |
| ８－２ | 全国・主要税関の輸出入の相手地域別通関額【2021年】 |

特徴

・ 近畿圏の輸出入の地域別構成比を国内他地域と比較すると、輸出入ともにアジアの割合が高く、北米の割合が低いことが特徴です。



大阪の国際化

|  |  |
| --- | --- |
| ８－３ | 全国・近畿圏の輸出入の品目別通関額【2021年】 |

特徴

・ 近畿圏の輸出は、全国と比べて「輸送用機器」の割合が低く、「電気機器」等の割合が高いのが特徴です。

* 近畿圏の輸入は、全国と比べて「化学製品」の割合が高く、「鉱物性燃料」等の割合が低いのが特徴です。



大阪の国際化

|  |  |
| --- | --- |
| ８－４ | 近畿圏の輸出入の主要相手地域別品目別通関額【2021年】 |

特徴

・ 近畿圏の輸出は、他の地域向けと比べて、アジア向けでは「電気機器」、アメリカ向けでは「一般機械」が多いのが特徴です。

・　近畿圏の輸入は、他の地域向けと比べて、欧米からは「化学製品」、アジアでは「電気機器」「その他」が多いのが特徴です。



|  |  |
| --- | --- |
| ８－５  大阪の国際化 | 全国・主要都府県の外国企業数の推移 |

特徴

・　大阪府に立地する外国企業数は2022年には１２６社で、全国シェアは4.0％です。

・　アジア系企業が49社と最も多く、欧州系企業が47社と続きます。



大阪の国際化

|  |  |
| --- | --- |
| ８－６ | 国内主要空港別国際線航空貨物取扱量の推移 |

特徴

・ 関西国際空港の国際航空貨物取扱量は、2017年から３年連続で減少した後、2021年は４年ぶりに増加に転じました。ただし、成田国際空港などに比べて増加率が緩やかだったため、取扱量の全国シェアが低下し、2021年は20.1％になりました。



大阪の国際化

|  |  |
| --- | --- |
| ８－７ | 全国・主要都道府県の国際会議開催件数の推移 |

特徴

・　大阪府における国際会議は、新型コロナの影響を受け、2020年は２３件と激減しました。

・　全国における順位は、東京都、京都府、兵庫県に次ぐ第４位です。



大阪の国際化

|  |  |
| --- | --- |
| ８－８ | 全国・主要都府県の在留資格別在留外国人数【2021年】 |

特徴

・ 大阪府における在留外国人は、2021年１２月末に246,157人で全国の8.9％です。

・　在留資格別では、「特別永住者」「日本人の配偶者等」「技術・人文知識・国際業務」の順に多くなっています。



大阪の国際化